

令和7年度 事務事業マネジメントシート

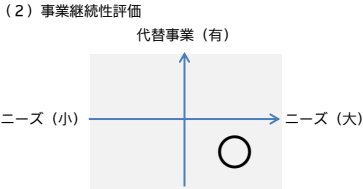
1 事業概要			中事業番号		816							所属コード		266000									
政策体系			SDGs	広域事業	総合戦略	セーフ	2025	2030	2040	2050	D X推進	手段	意図（目的）										
大綱（取組）	I 「産業・仕事の未来」		8.3	○	1-1			○			○	中小企業や小規模企業の成長発展、持続的発展を目指し、様々な課題に対応するための関連施策をパッケージ化し、事業展開を図る。	中小企業及び小規模企業、支援機関、教育機関、土業等との連携・協力により、様々な課題に応じた取組を実施し、本市中小企業及び小規模企業の成長発展、持続的発展など、郡山市中小企業及び小規模企業振興基本条例の理念の実現を目指す。										
施策	1 みんなが誇れる「郡山といえばこれ!」という産業があるまち																						
事業開始時周辺環境（背景）			現状周辺環境			今後周辺環境（予測）					住民意向分析												
人口減少や少子高齢化、中心産業の変化など社会・産業構造の変化に加え、消費者ニーズの多様化、グローバル競争の激化、情報通信技術の進展等など経営環境の変化により、本市のみならず全国の中小企業及び小規模企業を取り巻く近年の環境は非常に厳しい状況が続いている。 2017年には、地域社会全体で中小企業等の持続的発展を推進するため、「郡山市中小企業及び小規模企業振興条例」を制定した。			我が国の景気は、海外景気の下振れにより、下押しリスクを抱えている。また、不安定な国際情勢による物価高や経済のグローバル化による為替・物価変動の中、厳しい状況に置かれ、消費が落ち込み、経済の停滞が長引くことで、多くの中小企業等の経営を圧迫している。			中小企業は、地域経済と雇用を支える重要な存在であり、物価高等の影響が広がる中、BCP（事業継続計画）の策定、ビジネスモデルの再構築など、変化に対応する力が今後ますます必要となってくる。また、中小企業にも広がりつつある健康経営への理解を深めることが重要となってくる。					不安定な国際情勢による物価高や経済のグローバル化による為替・物価変動の中、事業者向けの支援策に関する問い合わせが多くなっている。また、新分野展開、業態転換などの事業再構築に対する支援を求める声は依然として多いほか、人材・人手不足を危惧する声も多く寄せられている。												

2 事業進捗等(指標等推移)			まちづくり基本指針五次実施計画		まちづくり基本指針六次実施計画		まちづくり基本指針七次実施計画		まちづくり基本指針八次実施計画		次期実施計画		次期実施計画		まちづくり基本指針	
指標名	指標名	単位	2022年度(令和4年度)	実績	2023年度(令和5年度)	実績	2024年度(令和6年度)	実績	2025年度(令和7年度)	実績	2026年度(令和8年度)	実績	2027年度	2028年度	中間指標	最終指標
対象指標	市内の事業所数	事業所		15,836		15,045		15,045								
活動指標①	セミナー開催数	回	5	3	4	3	4	1	4		4		4	4		
活動指標②	SNS等情報発信件数	件	100	86	100	18	100	37	100		100		100	100		
活動指標③																
成果指標①	セミナー参加者数	人	100	98	100	65	110	37	120		130		140	150		120
成果指標②	SNS等登録者数	人	500	1,042	1,000	1,119	1,100	1,149	1,200		1,300		1,400	1,400	300	1,200
成果指標③	BCP(事業継続計画)策定事業者の割合	%	73	75	75	72	77	73	79		81		83	85		
単位コスト(総コストから算出)	セミナー参加者1人あたりのコスト	千円		622		1,174		224	143		132		122	114		79
単位コスト(所要一般財源から算出)	セミナー参加者1人あたりのコスト	千円		186		202		224	143		132		122	114		
事業費		千円		55,556		68,026		1,350	8,908		8,908		8,908	8,908		
人件費		千円		5,445		8,263		6,925	8,263		8,263		8,263	8,263		
歳出計(総事業費)		千円		61,001		76,289		8,275	17,171		17,171		17,171	17,171		
国・県支出金		千円		42,794		63,145		0								
市債		千円														
受益者負担金(使用料、負担金等)		千円														
その他		千円														
一般財源等		千円		18,207		13,144		8,275	17,171		17,171		17,171	17,171		
歳入計		千円		61,001		76,289		8,275	17,171		17,171		17,171	17,171		
実計区分		評価結果	継続	継続	継続	継続	継続									

活動指標分析結果	成果指標分析結果	総事業費(事業費・人件費)分析結果
活動指標①セミナー開催数については、郡山商工会議所が予定していたBCP策定支援セミナー開催数の減少及びインボイス制度関連セミナー未実施に伴い計画値を下回った。 活動指標②SNS等情報発信件数については、有益な情報が登録者に届くよう発信内容を厳選した外、新型コロナウイルス感染症関連支援情報の減少に伴い発信数が減少した。	成果指標①のセミナー参加者数は、開催数及び規模の縮小に伴い計画値に達しなかったが、地元企業に加え市内各商工会の経営指導員が参加し、各地区商工会会員への支援スキル向上に繋げることが期待され、事業の効果は十分に図られた。 成果指標②SNS等登録者数は年々増加しており、目標値を達成することができた。 成果指標③BCP策定事業者の割合は、73%と計画値は下回ったが、前年から微増となり年々増加していることから、今後も支援を継続していく必要がある。	【事業費】 運送事業者等支援事業及び中小企業者エネルギー価格高騰対策支援給付金事業(共に国臨時交付金充当事業)の完了に伴い事業費は大幅に減少となった。 また、インボイス制度関連セミナー開催終了に伴い減少となった。 【人件費】 左記事業完了に伴い、人件費も減少した。

3 一次評価(部局内評価)

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		4
2 公平性		3
3 効率性		3
4 活動指標(活動達成度)		2
5 成果指標(目的達成度)		4



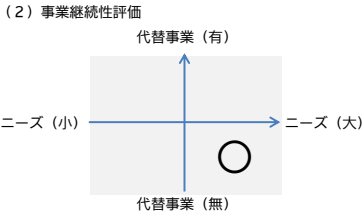
継続	一次評価コメント
インボイス関連セミナーの未開催によりセミナー開催総数は減少したものの、事業者のニーズに沿ったBCP(事業継続計画)セミナーを開催しBCP策定に大きく寄与した。 SNS登録者については年々増加しており、今後も登録者増加に向け周知を図るとともに、有益な情報発信に努める。 中小企業を取り巻く状況は急速に変動していることから、時代や事業者のニーズに沿った支援を積極的に行い、地域経済の振興及び雇用支援に向け継続して事業を実施する。	

5レシ	カウンターレス	キャッシュレス	ペーパーレス	ファイルレス	ムーブレス(会議レス)
		○	○		○

気候変動対応	D X (デジタル市役所)	部局間協奏
	○	○

4 二次評価

(1) 事業手法評価		
1 規模・方法の妥当性		4
2 公平性		3
3 効率性		3
4 活動指標(活動達成度)		2
5 成果指標(目的達成度)		4



継続	二次評価コメント
令和6年度のセミナー開催数は、インボイス制度関連セミナーの未実施により計画値を下回ったものの、BCP策定支援セミナーを開催し、事業者のBCP策定の支援を行った。SNS等情報発信件数は、有益な情報が事業者へ届くよう発信内容を厳選しているほか、新型コロナウイルス感染症関連支援情報が減少したことに伴い、計画値を下回ったが、SNS等登録者数は年々増加傾向にある。 事業費が減少しているが、これは、運送事業者等支援事業及び中小企業者エネルギー価格高騰対策支援給付金事業が令和5年度で完了したことによるものである。 今後においても、時代や事業者のニーズに沿った支援を積極的に行い、市内事業者の大多数である中小企業による地域経済振興及び持続的発展のため、継続して事業を実施する。なお、セミナー開催数及びSNS等情報発信件数が計画値に達していないことから、ニーズを把握しつつ合理的かつ効果的な事業の実施方法について検討する必要がある。	

(参考) 令和6年度カイゼンのための行動計画